

# まんざい

旭市立萬歳小学校

平成28年5月25日

No.2

《学校教育目標》

つよく おおしく たくましく  
ともに高め合う  
萬歳っ子の 育成

新しい体制でスタートした4月が終わり、学校も運動会を控えあわただしくなってきました。運動場からは、子ども達の元気な応援の声が響いてきます。春に運動会を実施する小学校も半数を越えました。春、秋それぞれのメリット、デメリットはあるわけですが、春の実施では、なんといっても猛暑の中での練習で熱射病にかかる心配が少ないことがあげられると思います。反面、入学式から日が経っていないことや小学校体育大会（陸上）の練習と同時並行といったデメリットもありますが、子どもの健康第一に考え、春に実施しているところです。

地区の方にも声をかけていただき、たくさんの皆様の参加をお待ちしております。

## 昨年の課題から（体力面）

昨年度の体力テストの結果から本校の児童は、持久力や柔軟性が県平均より劣っていることが明らかになりました。そこで、本年度は、なわとびを体育授業等で積極的に取り入れることにしました。通常、多くの学校ではなわとびは、冬期間に実施しております。それを1年を通して実施し体力の向上を図っていこうというものです。特に前跳びの目標を「学年×1分」に設定し、長く跳ぶことで持久力を高めていきたいと考えています。その際、膝を痛めるおそれがあるので、コンクリートなどの固い床面で長時間跳ぶことはさけて練習させるようにしたいと考えています。



また、昨年度は授業時間に実施できた水泳学習が天候不順のため少なかったもので、今年度は、授業中だけで10時間の水泳学習の時間を確保することを目標に水泳を計画・実施する予定です。

以前は、県教育委員会主催で各地区ごとに水泳教室（大会）を実施していましたが、スイミングスクールに通う児童の増加とともに泳げない児童が減少してきましたので、この水泳教室は廃止されてしまいました。これにより各学校でも、スイミングにも通わない児童の中には、泳げない児童が増えてきているように思います。

自転車といっしょで水泳は、一度覚えると生涯忘れることはありません。夏を楽しむだけでなく、自分の安全を確保するためにも、泳げることはとても大切なことと思います。なわとびでの体力づくりとともに水泳学習にも本年度は力を入れていきたいと思っています。



## 楽しかった遠足

4月末から5月にかけて、本校では遠足を実施しております。遠足は、学校行事の一つ遠足・集団宿泊的行事に位置づけられていますが、行事時数の削減のため実施しない学校も出てきました。本校は、遠足のねらいである「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむ」ことや「人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについて望ましい体験を積む」ことを目標として実施しているものです。

### 1・2年

4月27日（水）天候に恵まれた1・2年生の遠足では、銚子漁港で大きなマグロにびっくり仰天、次にかわいい銚子電鉄に乗ってマリンパークへ行きました。イルカの見事なパフォーマンスに歓声が上がりました。バスの中では、2年生がリーダーシップを発揮し、歌やクイズなどを行って楽しく過ごすことができました。



### 3・4年

5月13日（金）に石井食品、千葉ポートタワー、千葉港の3か所を見学してきました。事前に千葉市の街並み・千葉港はどんなところか調べたので、子ども達は、目的をもって見学することができました。天気も良く、絶好の遠足日和でした。



工場見学ではできたてのミートボールを食べてきました。ポートタワーでは富士山を見ることができ、ラッキーでした。3年生、4年生が楽しいひとときを共にすることができました。

千葉港めぐり観光船では、間近で見る大きい工場や船に驚いていました。また、海にタコや魚を見つけて喜んでる子ども達もいました。



ふだん、見られない場所を見学できたことは、とても貴重な経験になったと思います。

## 5年

5月13日（金）にキッザニアに行ってきました。キッザニアでは、ピザーラでピザ作りを体験したり、建設会社で家の建築の体験をしたりしました。普段体験できないような職業の体験を行うことができ、楽しさを味わうとともに、知らなかったこともたくさん知ることができました。



キッザニアでは、働くことで「キッズ」というお金をもらうことができます。集めたキッズで、花作りをしたり、運転免許を取ったりしました。様々な職業の体験を通して「働くこと」について考えられたのではないかと思います。

えると、年相応に思い通りにならない壁にぶつかることも、子どもたちの成長には欠かせないものだと思います。

新しい学年がスタートして1ヶ月半が過ぎ、いろいろなことにちょっと慣れてきたころです。こういう時期は、子どもたちのちょっとした変化にもぜひ注意していただきたいと思います。張り切っていた気持ちが何かでつまずき気持ちが沈んでしまったり、慣れてきたがゆえに自分勝手なルールや思い込みで行動してしまったりすることがあります。また、心無い言葉で相手を傷つけてしまうこともあります。子どもを信じることは大切ですが、もし子どもが間違っていたら正してやることも大人の責任です。子どものことを一番近くで見ている大人が、良いところを認めつつ、時機をとらえ必要なアドバイスをしていくことも子どもの成長には大切だと考えています。



(校長 木村 仁)

## 小学校体育大会

5月18日（水）に五月晴れのさわやかな天気の中で、小学校体育大会（陸上）が行われました。本校からは、4年生以上が選手として参加し、好成績を収めることができました。



入賞者は以下のとおりです。

- ・5年男子1000m 第5位 菅谷 勇稀
- ・5年女子1000m 第1位 伊藤 遥菜
- ・5年男子走り幅跳び 第6位 前田 拓磨

おめでとうございます。来年もさらに記録を伸ばせるように、入賞した人には日頃からの体力づくりの手本となるよう運動してもらいたいものです。テントの設営、撤収、本部役員の皆様、ありがとうございました。

## PTA奉仕作業

5月19日（木）PTA奉仕作業が行われました。本部役員の方が事前作業をくださったお陰で雑草等が少なく、当日は、シルバー人材センターの方が伐採した樹木の枝等の後始末を重点的に行うことができました。お陰様で観察池の周辺がとてもしっきりきれいになりました。ご多忙のところ参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



【校長室より】

### 折り合いをつける

5月になり新しい環境にだんだん慣れてきたころですが、子どもたちは日々の生活の中で思い通りにならないことにたくさん出会います。勉強のこと、遊びのこと、友達関係など、むしろ思い通りにいかないことの方が多いかもしれません。

そういうときに、どのように折り合いをつけていくのか、折り合いのつけ方を学ぶことも、生きていく上ではとても大切なスキルだと感じています。このスキルを身につけていくためには、いろいろな体験をすること、そしてその中でいろいろな人に出会うことが大切だと考えています。遊びの中での譲り合い、あきらめずに努力して今までできなかったことができるようになることなど、一つ一つの体験を通して、子どもたちは頑張る力や我慢する心、そして、人に感謝する心など大切な「生きる力」を身につけていきます。



思い通りにならないことを乗り越えながら、子どもたちは次第に成長していきます。そう考